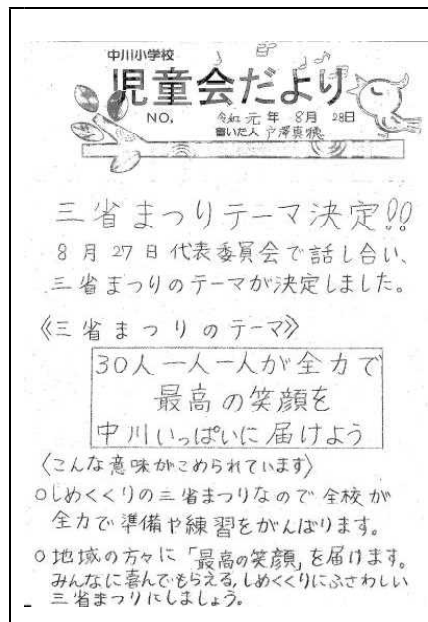


## 「三省まつり」のテーマが決まりました

連日の猛暑が続いた8月も残すところあと1日、朝夕の涼しさには、秋の気配を感じる頃となりました。9月に入ると、角館のお祭り、三省まつり・閉校記念イベントなど、例年にも増して大きな行事が続きます。また、前期の締めくくりに力を注ぐ期間でもあります。行事についての話合いや準備、練習と学習のまとめを並行して進めていく上で大切になってくるのは、「集中力」と「気持ちの切り替え」です。「心のスイッチON! キラリかがやけ!」をしっかりと意識して取り組めるように働きかけたいと思います。

さて、右の児童会だよりにありますように「三省まつりのテーマ」が決まりました。「30人一人一人が全力で、最高の笑顔の中川いっばいに届けよう!」です。このテーマには、中川っ子達の①「今年で締めくくりとなる『三省まつり』にける意気込み」と、②「『中川地域のみなさんに喜んでほしい』という強い思い」がこめられています。練習が本格化するのこれからですが、どの学年も「笑顔」と「元気」そして、「感謝の気持ち」を地域のみなさんに届けられるように張り切って取り組んでいます。



## ご協力ありがとうございました

今年は、本当に暑い暑い夏休みでした。初日の7月23日(火)は悪天候のため中止にしましたが、それ以後は予定通り、15日間のプール開放を行うことができ、のべ169名の子どもたちがプールを利用しました。連日のプール通いでたっぴりと水に慣れ親しんだ子どもたち。9月1週頃までは水泳学習が続きます。休み中のがんばりを残りわずかとなった水泳学習につなぎ、泳力がアップしたことを水泳検定を通して実感させたいと思います。

保護者の皆様にはプール監視にご協力いただき、本当にありがとうございました。紙面を借りて御礼申し上げます。



## 全県児童生徒席書大会大曲仙北大会の結果

### 【硬筆の部 (1・2年生)】

#### ○金賞

A.Kさん W.Yさん O.Rさん T.Hさん

#### ○銀賞

O.Nさん K.Kさん A.Hさん K.Aさん

### 【条幅の部 (3~6年)】

#### ○銀賞

H.Yさん T.Mさん

#### ○銅賞

I.Aさん T.Rさん H.Nさん

I.Aさん O.Sさん H.Kさん

K.Rさん

### 【半紙の部 (3~6年)】

#### ○金賞

K.Aさん H.Yさん A.Rさん I.Aさん

T.Rさん H.Nさん I.Aさん T.Mさん

#### ○銀賞

W.Hさん O.Aさん T.Sさん H.Fさん

O.Sさん T.Iさん H.Kさん Y.Rさん

K.Rさん S.Yさん T.Mさん

#### ○銅賞

T.Sさん T.Yさん T.Sさん

みんながんばりました!

**算 数**：全国平均ならびに秋田県平均を上回りました。これも、昨年の秋田県学習状況調査と比較すると、だいぶ改善されてきたと言えます。課題となっているのは、①3けたの整数どうしの大きさを比べて「十の位に入る適切な数字」を書くこと、②「示された事柄が両方当てはまるグラフ」を選ぶこと、③「円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるか」を選ぶこと、④「200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%か」を選ぶことなどでした。

**算数B**：まだまだ課題は残されていますが、昨年の秋田県学習状況調査と比較するとポイント差がだいぶ縮まり、徐々に改善されてきていると言えます。正答率が全国を大きく上回ったのは10問中4問ありました。課題となっているのは、①合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として「正しいもの」を選ぶこと、②4色を順に繰り返してつなげて輪飾りを作ったときの「30番目のおりがみの色」を選ぶこと、③（事前に調べた結果のメモを基に）1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための「玉を投げる時間」を表に整理して求めること、④一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読みとることができることをまとめた文章を適切な言葉を選んで完成させることなどでした。

**理 科**：わずかですが、秋田県平均を下回りました。正答率が全国を大きく上回ったのは16問中6問ありました。課題となっているのは、①「流れる水のはたらき」の「堆積(たいせき)・浸食(しんしょく)・運搬(うんぱん)」という基本的な用語、②「鳥の巣の観察」の正しい方法、③「検流計の針の振れ方」から正しい結論を導くこと、④濾過(ろか)の正しいやり方などの問題でした。

昨年度の県学習状況調査の結果を受け、「話し合い活動」「説明する活動」「他の人の考えを読みとること」など、言語活動の充実を通して「学習状況の課題の解決」に向けて学習指導に当たってきました。徐々に成果として表れてきてはいますが、取り組むべき課題は、まだまだ少なくありません。今後も学校体制として全体的な指導や個別的な指導を続けていきます。

6年生には「個人票」をお渡ししました。一人一人の状況をしっかりと把握し、今回の結果を生かした学習活動を展開し、「確かな学力」を身に付けられるように指導に当たってまいります。